

鳥取市民交流センター多目的室における web 会議イメージ

※写真は別会場のものになりますので、あくまでイメージです。

会場のスクリーンと web 会議画面の接続（イメージ）



web 会議に接続しているパソコンの画面がスイッチャーを通してスクリーンに映し出されます。

複数の参加者がいる場合、web 会議ツールの機能を用いて講師を大画面で表示するように設定する等、web 会議側の機能を使って調整できます。

研修会場の様子（全景）

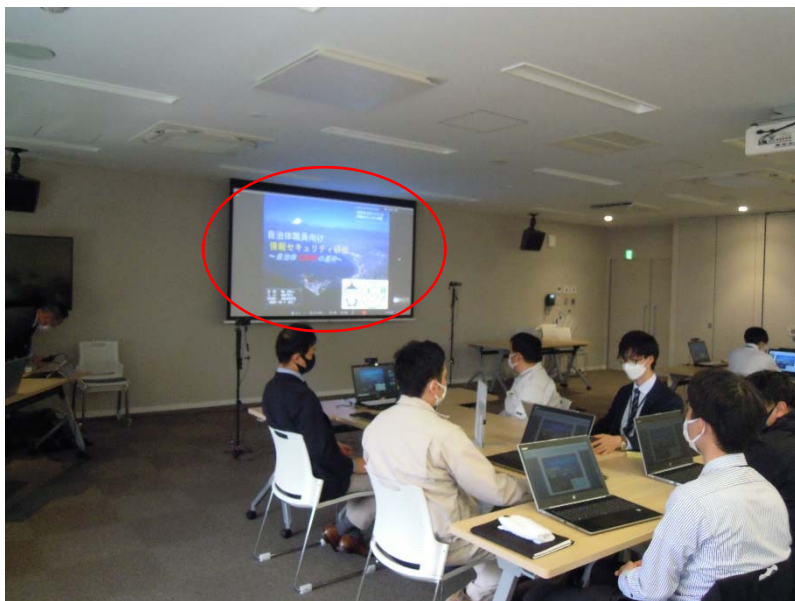
会場からの視点



スクリーンに web 会議で外部から参加している講師が映っています。

スクリーンで講師の顔を確認することができ、会場のスピーカーを通して講師の声を聞くことができます。

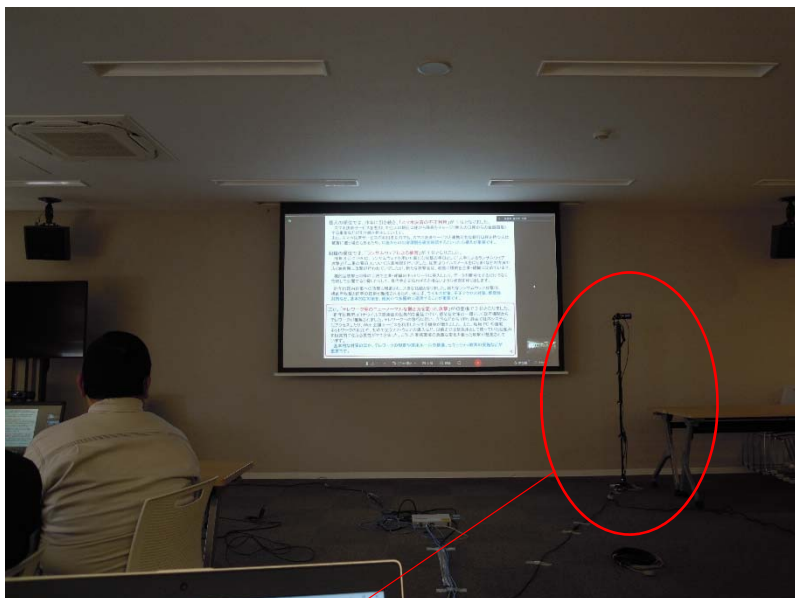
資料を用いた説明の様子



資料を用いた説明を行う場合、スクリーンに資料を映し出して、講師が資料に沿って説明を行います。ここでは講師がweb会議ツールの画面共有の機能を使って映し出しています。

場合によっては、会場でweb会議に接続しているパソコン側で資料を映し出すことも可能です。

会場の様子をweb会議に映し出す方法（イメージ）



スイッチャーにカメラを接続することで、web会議の参加者に映し出す映像を切替ることができます。

ここでは、カメラを2台用意し、1台は会場全体を映すためのもの、残りの1台は発表者を映すためのものに分けて運用しました。場面ごとにスイッチャーでカメラの切替を行うことで映し出す映像の変更ができます。

カメラ（全景撮影用）

講師（外部参加者）からの会場の様子（全景）

外部からの視点



講演や説明を行う際に会場にいる参加者の様子を確認することができます。

講師（外部参加者）からの会場の様子（発表者アップ）



会場の発表者を移動可能なカメラで撮影することで、発表者の様子を確認することができます。

この方法で質疑応答を行うこともできます。

移動式カメラ（発表者撮影用）